

## 令和元年度大牟田市総合教育会議（第2回） 会議録

◆ 日 時 令和2年1月23日（木）16時15分～16時55分

◆ 場 所 大牟田市役所3階 302号会議室

◆ 出席者

関市長、安田教育長、山本委員、嶋田委員、東委員、笹井委員  
教育施策関係部署

（企画総務部）井田部長、吉田調整監

（市民協働部）中島部長、富安調整監、地域コミュニティ推進課 徳川課長、

生涯学習課 大倉野課長、楠青少年担当課長、スポーツ推進室 徳永室長

（教育委員会事務局）中村事務局長 教育みらい創造室 平野課長、松葉主査、高倉指導主事  
学校再編推進室 中野室長、指導室 荒木室長、学務課 鷹尾課長、黒田  
給食担当課長

（事務局：企画総務部総合政策課）藤丸課長、中島主査、三原主査、入江

・傍聴者 2名

◆ 議 事

〔議題〕

1. 大牟田市教育の振興に関する大綱（案）について

事務局より説明後、協議。

委員 1月11日に開催されたESD子どもサミットについて、市長にも参加  
いただいたが、その感想を伺いたい。

市長 ESD子どもサミットに参加して大変感激した。  
その理由は、子ども達が自分達で「持続ある社会・地域を創ること」に  
ついて自ら考え、そして、具体的に取り組んでいることに感銘を受けた。  
また、その活動を地域が支えているという仕組みが出来ていることは、  
これまで大牟田市が取り組んできた成果であると感じることができた。  
また、子ども達がいきいきとしている姿をみて、大牟田市の将来につい  
て考えたときに大変心強いと感じたところである。

委員 前回の総合教育会議で、まちづくり総合プランにもSDGsについて盛  
り込むという説明を受けたところである。可能であれば、教育の大綱の  
中でも盛り込めないだろうか。見える形にすることで、子ども達が自分  
自身の取組みが、まちづくりにも繋がっていることに気付くことができ  
るのではないかと考える。

事務局 教育の大綱の中でも盛り込む方向で検討する。

- 委員 教育の大綱の施策4「視点②ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり」に、教育委員会以外でもESDに取り組みられることを嬉しく思っている。具体的な事業内容が決まっていれば教えていただきたい。
- 関係部局 社会教育の観点から大きくわけて2つ。1つは、現在、学校で取り組まれているESDの取り組みを地域が支援するような事業内容を検討している。市内7つの地区公民館が地域と学校のつなぎ手となりコーディネートしていくものである。2つ目は、ESDを学校教育だけでなく地域にも広げていきたいと考えている。様々な地域課題を社会教育の視点で解決していくような取り組みを行いたいと考えている。
- 委員 子どもたちをはじめ、市民が文化芸術に触れる機会を多く作って頂きたいと思う。それについて、市長のお考えを聞きたい。
- 市長 市民が文化芸術に触れる機会を多く作っていきたいと考えている。
- 関係部局 現在、文化芸術振興プランを策定中である。その中でも、文化芸術の力により子ども達の豊かな心の育みに寄与していきたいと考えている。例えば、「まちの芸術家派遣事業」「演劇・ダンスのワークショップ」等、若者を中心にした事業を拡充していきたいと考えている。
- 委員 是非とも機会の創出をお願いしたいと思う。
- 市長 文化芸術に関わっている市民とも連携しながら行っていきたいと思う。
- 委員 平田オリザさんに活動いただいている。大牟田の教育に関わっていただいていることは有難いことであると思うので、今後も引き続きお願いしたいと思う。
- 関係部局 平田オリザさんのワークショップは、H29年度から取り組んでいる事業になる。来年度以降も事業内容を拡充して行う予定である。地域の方々にも体験できる形にしていきたいと考えている。  
羽山台小学校でモデル的に行ってきたことを、地域にも広め、継続して行うことができればと思っている。
- 委員 子ども達が大人になり、まちづくりに取り組むまでには時間がかかる。まずは、今いる大人たちが地域づくり等に取り組んでいく必要があると

考える。まちづくり総合プランにSDGsを取り込むことで、子ども達が自分自身の取り組んでいることが、まちづくりに繋がっているということ「見える化」されると思う。

市長 まちづくり総合プランそのものにSDGsとの関連を載せたいと考えている。子ども達に対する取組みはもちろん、大人も巻き込んだまちづくりを考えていく。

## 2. 大牟田市学校教育振興プラン（案）について

教育委員会より説明後、協議。

委員 本市教育では、「児童会生徒会リーダーミーティング」を12月頃に実施している。これは、いじめをなくすために、市を挙げて取り組んでいるものである。次回、是非市長に参加してもらいたいと思う。

市長 参加したいと思う。いじめは、大切な社会的問題だと考える。いじめを解決するには、いじめについて子ども達自身が自ら考え、みんなで議論することが最も効果的な取組みの1つであると思う。小学校と中学校が一緒になって取り組んでいることは、学校間の連携にもつながるため、大変大切な取組みであると思う。

## 3. その他

委員 古賀前々市長・中尾前市長に、小学校6年生を対象とした出前授業を実施いただいていた。出前授業を受ける子ども達は、目をキラキラさせて話を聞いていた。関市長にも是非お願いしたいと思う。自分達が住む街の将来のことを市長自らお話いただき、SDGsとまちづくりについてお話いただくと自分達が取り組んでいることがまちづくりに関わっていると感じられ、それが誇りに思えるのではないかと考える。

市長 出前授業については、是非できればと考える。低学年の子どもから、SDGsのバッジを指差し「それ知ってる」と言われたことがあった。言われたときに、SDGsが定着していることを実感した。ESDにとどまらず、私のまちづくりに対する思い小学校6年生に伝えたいことを考えて、出前授業ができればと思っている。

以上（16:55）終了